

「人生いかに生きるか —生き方の愛のヒント—」

欠野 アズ紗

'11.9.10 チカコ健康サロン講演要旨



私は東京で生まれ育ちました。父は銀行員で家族を愛し、私にはクラシックバレエを習わせて下さり、私は踊りが大好きでした。ご近所とも仲良しで、世の

中は全てそのような生活であると信じていました。

私は大学へ行きたかったのですが、両親は、女の子は料理や裁縫を習って結婚するのが一番幸せと考えていましたので、大学進学は反対でした。

そのような時、関西の大学生から結婚を申し込まれ、「結婚して、大阪で大学に行けばよい」という言葉に魅かれて結婚しました。何より大学へ行くことが一番の望みでしたから。

彼はハンサムで、背が高く、両親の残した家賃収入で生活をしていました。ところが、彼は全く仕事をしないのです。貸家の管理、家賃や電気代の集金等、全て私がしなければなりません。それどころか、朝は中々起きず、大学へも殆ど行かない。たまに出かけると帰ってこないという有様です。

そのような中で長女を出産しましたが、彼は、子供はいらない、子供の面倒は一切みない。長男誕生の時も同じです。私は、子供は私一人で育てる、と決心しました。

予備校どころか、貸家の管理と子育てに追われました。

子供には、私が両親から育てられたように育てたいと、手編みや手縫いの洋服、おやつも手作りりと、ありったけの愛情を注ぎました。

私自身の棚卸

このような生活を何とかしなければならぬと、私は、自分自身の棚卸をしました。

私には、何の資格もない、高校を出てすぐに結婚したので、料理もおぼつかないほどで、世のため人のために役立つことは何もありませんでした。

そこで、何か資格を取ろうと考えたのは、私が勉強すれば、夫も勉強するだろうと思ったからです。

彼は思いがけず、賛成してくれ、税理士という資格があることを教えてくれたのです。これなら、得意な数学が生かされると、簿記3級から勉強を始めました。彼も土地家屋調査士の勉強を始めました。

税理士への道

商工会議所の3級を受験し、すぐ合格しました。税理士の受験資格である商工会議所の1級はすごく難しい。私の場合は、1級を合格しないと税理士の受験資格がないので必死でした。

発表の日、合格の名前は壁に貼りだされず、いちいち受験票をめくっていき、めくる度に不合格が多く、ドキドキしましたが、私の受験番号の時に、合格の(合)が、すごく嬉しかったです。

商工会議所の前からバスに乗り、阪急の8階の大食堂で、子供と三人アイスクリームで乾杯しました。その時のアイスクリームの味が不思議なことに、未だに一番美味しかった味として残っています。

夫は、土地家屋調査士の試験に合格しました。私の数倍も頭の良い夫でした。

商工会議所の簿記1級試験に合格したので、主婦の合格体験記を新聞に載せるので書いて欲しいとの依頼があり、喜んで書かせていただきました。後日談として、27歳で合格したのですが、新聞社には37歳で合格と出ていましたのでびっくりしました。

いよいよ税理士試験の挑戦です。

簿記論、財務諸表論の勉強も独学でした。翌年12月合格通知がきました。商工会議所で1級の合格のため徹底して勉強しましたので、基礎が身につけていたのです。それがなければ、今になっても税理士試験に合格していなかったと思います。

翌年、所得税法を受験することにしました。これは国税で範囲が広く所得税法の法律を、ほとんど暗記しました。論文の場合、法令通りに書かないと不合格だからです。20代だから良かったのです。暗記力がありましたから。

所得税法の実験場所は、近畿大学でした。私が東京から来て一番耐えられなかったのは、大阪の湿度の高い蒸し暑さで、我慢できない程でした。8月の半ば過ぎ、受験会場の教室に入りますと、受験生はオール男性でした。短いパンツ姿で、一つの教室に200人ぐらいの受験生。私は後ろのドアから入り、一番前まで歩いて行って受験生を見渡し、この中の5%に入ってみせると決意して、自分の席に座りました。そして合格しました。

3年目に法人税法、相続税法を受験しました。これもすごいボリュームです。

地方税にしたらいいのにという声も耳に入りました。でも、すぐ会計事務所を開くの役に立つからと、合格は不可能と言われてましたが私自身の考えを変えませんでした。相続税法、法人税法は勉強していたところが出題された。早く書かないと時間がない。でも、確信はありました。

帰りの電車で、知らないおじさんから「今、近畿大学で税理士試験を受けてきた？」と訊かれ、「はい」と応え、「どうでした？」「はい、合格しました。」それから、おじさんは、私の事、ヘンと思ったのでしょうか、話しかけませんでした。12月に合格通知がきました。

夫と共に合格したい。子供に喜んでもらいたい一心でした。簿記の「ボ」の字から始めて6年目です。

彼は私が簿記1級合格時に土地家屋調査士

の試験に合格し、その後1級建築士の試験を始め、私が税理士に合格した年に一緒に合格しました。

会計事務所開設

税理士に合格して、会計事務所に就職しようと履歴書を出しましたが、採用はゼロでした。今なら環境が違うかも知れませんが、当時は女性には就職の環境も厳しかったです。手がかかる子供が二人いるから駄目、帰り道は何故？と涙がとまりませんでした。

そうだ、会計事務所を開業しようと思いました。そして、夫も建築事務所を開業すれば、建築のお客様が会計事務所のお客様になり、会計事務所のお客様が家を建てる時は、建築事務所のお客様になるので、役に立つのではと思いました。でも、その時に会計事務所を開業するという事は、二年間の実務経験があるということがわかりました。

自宅が広く、貸事務所に入っていましたある会社の社長さんが、元四国の中学の校長先生で、子供二人を連れてもいいから、うちの会計を手伝ってくれないかと言われ、そしてお給料までくださったのです。

その会社の証明書が税理士の登録に役立ちました。とても嬉しかったです。

本当に神仏に誘導されているんじゃないかなと感じました。人様の御恩に助けられているというか、人と人との出会いのご縁は一瞬早からず、又、遅からず必ず出会うべき時に出会えることができる。この言葉が一番好きな言葉です。

本当に今日がそうですね。ひよんなきっかけから、数年ぶりで更に健康な皆川さんにお会いし、そのおかげで、私の話を聞いてくださる皆様、またいろいろな機会をくださって、嬉しいです。

そして、会計事務所を京橋に開き、彼も同じ所に一級建築事務所を開業しました。

離婚・子育て

彼との生活、仕事は日に日にかみ合わず離婚を決意しました。何故か、反対せずにすっと、すぐ印を押してくれたのです。

離婚して心が軽くなったのを感じました。子供と三人の生活が始まりました。ここにいらっしゃる田中英雄さんとは比較的早い出逢いで私のことを一切合切すべて知って下さっているんですが、田中さんがお客様になって下さって又お客様を紹介して下さる、又そのお客様がお客様を紹介して下さる。あれ

よあれよという間に会計事務所が発展しました。とても仕事が忙しくなりました。

その頃の時代は保育所、学童保育の設備が一切整っていない社会だったので、子供が母親の仕事が忙しい為さびしがっているのでは？どう家で過ごしているか？本当に悩みました。加えて息子が先生の言うことを聞かないのです。しょっちゅう学校から呼び出される。本当に彼を育てるのは大変だった。でも、あの時、彼を叱りとばしていたら、彼の素質は伸びなかったと思います。今、彼は経営者となってすごいエネルギーで、彼にしかできない仕事をしています。

子育ては100%母親の責任

子育てはいつでも、どんな時でもお母さんの責任です。

ソニー創業者の井深大さんのお話ですが、井深さんは2才の時にお父様が亡くなられました。お母様は、お父様の素晴らしさを毎日、毎日寝る前に話されたそうです。

仕事が忙しいとか、父親が面倒見てくれないなどは、問題ではありません。「子供は100%母親の責任」と覚悟を決めれば、子供はすくすくと伸びていくものです。子供の心をとらえるのは、愛の心だと思います。愛が一番です。

高齢化社会と共にストレスが家庭をおかしくし、鬱の人が多くなっています。

その人たちを癒すのは、やはり母性だと思います。母性の愛ですね。

ある時、大阪府警の方から「大阪は日本一青少年補導数が多い」と聞きました。丁度その時、最も暴力で荒れている学校の報道がされました。

南中ソーラン

稚内市立南中学校です。

不況で会社が倒産し、リストラで職を失う人が増え、大人の心のすさみが子供たちに伝わり、学校は次第に荒れていきます。そんな中、学校、親、地域がスクラムを組んで動き出しました。そこで生まれたのが「南中ソーラン」ソーラン節を取り入れた踊りです。稚内の荒海を表現する、網で魚をとる、全て踊りで表現している。すごいエネルギーの踊りです。

それで学校の荒れ問題が収まっていった力のあるカッコ良い踊りです。これを大阪に取り入れようと思ったのです。

大阪メチャハッピー祭

札幌のよさこいソーラン祭で稚内市立南中学校の生徒が踊る「南中ソーラン」を大阪の中小企業の経営者たちに、是非見に行つて欲しいと拝み倒しました。初めは、この不況にそんな暇はないと言っていました。無理矢理行ってもらったら、中学生の踊る「南中ソーラン」を見た瞬間、感動して、これを大阪へ持ってこようという話になりました。大阪の子供達はそれをすごく喜んだのです。先生はなかなか踊れませんが、体が柔らかい子供達はサーッと踊るのです。

平成12年 第一回大阪メチャハッピー祭を開催しました。会場からの拍手が止まりませんでした。

「メチャハッピー祭」の最初の立ち上げの時は、挫折、挫折で諦めずに良かったと思います。

今年で12回目ですが、各地で南中ソーランをやり、本選は体育の日に大阪城ホール中心にやります。

南中ソーランを踊った子供達は、皆、ボランティアの方に大きな声で「ありがとう」と言うのです。メダルをもらった時も大粒の涙を目にいっぱい溜めて「ありがとうございます」と言います。子供は嬉しいとはっきりお礼の挨拶をするのです。誰もお礼を言わないと教えていません。

おわりに

今回頂きました、お話しのテーマは「人生いかに生きるかー生き方の愛のヒントー」ですが、かけがえのない両親から生まれ、育てて頂き、育てて頂いたご恩返しは、一生懸命生きるということではないかと思えます。

長い人生を振り返って、どの場面でも(例えば出口を見出せないような困難な時も)出口は必ずありました。

お一人お一人顔が異なるように生き方も様々ですが、やはり人生、生かされている中で、苦勞といえるようなものがやってきたら、一生懸命それを体験させて頂く、その度ごとに新しい人生のステージが与えられ、新たな人との出会いのご縁があり、その人生を絶対肯定して生きるのが最大の生き方の愛のヒントのように思います。

欠野アズ紗著

「愛からはじまる」

致知出版社

1,600円



五反田・四谷でご縁を頂いた方々、 ありがとうございます

東京支所は9月末で閉めることになりました

東日本大地震と原発事故による影響は計り知れないものがあり、ネイティブヘルスも大きな打撃を被っております。

勿論、直接被害というのでは有りませんが、お客様が来られないのです。

未だに、関東では、いつ震度4以上の地震が来るかも判らない、駅構内は暗い、エスカレーター、エレベーターはストップ（最近やっと動いたらしいですが）、これでは出かけるのに気後れがします。ましてや体のすぐれない人にとっては、出かけるのも躊躇しますよね。

その上、全国的自粛ムードが漂い、大阪でもめっきりとマッサージの予約が減ってしまいました。一般の方に、菜食整腸ネイティブヘルスの素晴らしさをご理解いただくのはとても難しい様です。真剣に取り組まれた方々は皆さん感動して下さっているのですが・・・

何とかしなければならぬと、四苦八苦している中、会員様の中には「これではいけない、こんな素晴らしい会を消してはならない」と一生懸命ご尽力、ご協力くださる方もおられ、とても有難く、心強く思っております。

そのような状態の中、東京支所の赤字が足を引っ張るような状態では、その努力も水の泡、ネイティブヘルスの赤字は広がるばかり、ここで意を決して、大阪本部存続のためにも支所を引き上げざるを得なくなりました。

とても残念です。五反田、或いは四谷でご縁をいただいた方々には、大変申し訳なく思っております。ただただ無力を恥じ入るばかりでございます。

東京支所を閉鎖いたしましても、食品等は電話、メール等でご注文いただけますし、会員様にはその際の割引や、会報のご送付等ございますので、これまで通り是非々々お付き合いいただきたくお願い申し上げます。

また、関東には、研修卒業生でネイティブヘルス認定機関として、下記の人達が活動しておりますので、ぜひ、ご用命下さいませ。

4年弱という短い期間ではございましたが、いろいろな方との出会いがあり、嬉しゅうございました。誠に有難うございます。これからも長くお付き合いいただけると信じて居ります。

又、関西へお出ましの節には、是非梅田本部へお立ち寄りくださいませ。

(梅田本部 電話 06-4802-6880, 6882 FAX 06-4802-6881)

ネイティブヘルス認定機関（認定指導員）関東地区

石橋美江子（NHコスモス）世田谷区弦巻 090-9970-3202

鈴木八千代・渡邊朝子（美腸Room北鎌倉）鎌倉市大船 0467-46-5364

中村由佳 船橋市藤原 090-1200-8561

青木朝子 横浜市戸塚区戸塚 045-881-6388

下村明美 守谷市立沢 090-6157-2180

持田聡子 川崎市中原区木月 090-9152-1064

松上げの火祭り 所感

会員 酒井 清 (神戸市)

この祭の話于今年の春に皆川先生から伺って興味をもった。

白州正子さんの『かくれ里』という著書に「山国の火祭り」の一篇があり、“太古から連綿として伝えられてきた祭に大変感銘を受けた”と記されていることから、ネイティブヘルスで企画しているとのことであった。

やがて、この見学会の案内をいただき、白州さんの著書もお借りして喜んで参加した。

大変よい火祭りであった。場所は、京都市街のほぼ真北、出町柳から直線距離で約25キロ、保津川上流のほとりの山中の平地です。

私達は、バスで四条烏丸から北上し、若狭への街道で花脊峠を越え、大布施を経て原地の河原へ出ると、そこが火祭りの場所であった。この周辺には寺谷川が流れ、保津川の本流に合流する地点とのことであるが、夕暮れ寸前でよく分からない。

私達は有刺鉄線のすぐ傍で、道路のへりに腰をおろした。

日も暮れ、闇が濃くなったころ、街灯が消され、この山間の平地一面に松明が点火された。人の背丈位の松明が、一間位の間隔で河原に立てられ、暗闇の中を人が走りまわって点火していくのが仄かに見える。灯のきらめきが目前一杯に広がり、まばゆいばかりだ。

この灯の海の中央に15メートル余の柱が立っており、その天頂に籠様のものがとり付けられ、中に薪が詰め込まれている。この柱を灯籠木(とろぎ)と呼んでいる。

日が暮れてから1時間位経過した頃、この灯籠木の上の籠に火種の投入が始まった。これを松上げというらしい。この火種は、松のジンと云って油の多い松を丸く束ねて紐がついている。この紐を握って、四方八方から火種をほうり上げる。

中々うまく入らず、観客も一斉に声援するが、それると嘆声となる。その背景として太鼓の響きも雰囲気盛り上げている。

この松上げが始まって20分位してこの火種がようやく籠に入り、歓声上がり、太鼓も急調子だ。拍手も起こる。この天頂の籠から炎が上がる。この炎はやがてこの灯籠木の柱に移り、火柱となっていく。

最初の火種が入ってから、10分位して2

発目が入る。この頃はもう火種となって輝いている。この火柱の周囲の松明も明々と燃えている。火種のほうり上げと松明の世話を、多くの人が黒い影となって、闇の中を走り回っている。

やがてとろ木の天頂も、火柱も火勢が衰えかかり、倒れる。焰はいつも何か私達に尊さ、恐れ、望みなどをもたらしてくれる。それも闇夜の中で、無数の灯の中で、太鼓の響く中で一層その感が強くなる。

私達は帰りの時間となり、残念ながら多くの灯と祭のざわめきを後に、バスに乗り込み、快い余感を抱きながら京都に戻った。

この火祭りのよさは、皆それぞれに感じていることと思うが、私はこの祭りに関与してくれている人達が、自分たちの祭りとして、外に他に何も求めず、黙々と動き、自分の役を遂行していることが、とても尊いことのように感じた。このような、人々の素朴な思いが太古からの祭りを立派に受け継いで来た基本にあると思う。

松明にしても、とろ木にしても、灯を長時間そつなく燃やしておくのにはかなりの工夫が必要だし、松のジンにしても点火したままで、15メートルもほうり上げるのであり、多くの工夫が競われて来たとのことだ。

この祭りは観光的要素を狙っているわけでもなく、唯々豊穰と村の無事を祈って、祭りを滞りなく進めていくことに徹している様が伝わってきて、見ているだけの私は、何か申し訳のないような気持ちにさせられた。

この近辺は、白洲さんの著書にも詳細に記されているが、東側の山手に峰定寺がある。

十二世紀の創建で、平家物語には、この寺に俊寛の妻子が隠遁したとの記載があるそうである。また、用材がこの近辺から宮中に納入されたり、若い女性が多く宮中に仕えたりして、由緒ある土地柄だったようである。

このような火祭りを観光化せず、ひたむきに守り続けてきたことに、この土地の人々のひたむきな郷土愛が感じられる。このことが私達見学者に爽やかさを与えてくれたように思った。

我国は島国で気候温暖、外国からの侵略もなく、異民族から支配されたこともなく、古来の伝統をしっかりと伝えることができたこと、その一端にふれることができたことの有難さを帰りの車中で思った次第です。

知識（チ）からだ（カ）こころ（コ）の健康を考える人たち、仲間づくりのサロンです

月・日 時間	講師（敬称略） 演題	会 費	備考
10月12日（水） 11:00-12:30	皆川 容子 Rawfood Cooking 火を使わない料理	会員 1000円 一般 2000円	エプロン持参
20日（木）	1日ツアー 黒枝豆の収穫と砥峰高原		7頁参照
11月26日（土） 14:30-16:00	芳村 思風 「大震災の意味」	会員 無料 一般 1000円	
12月 7日（水） 14:30-15:30	杉原 伸夫 「日本における西洋医学と代替医療」	同 上	

前日までに必ずご予約ください 予定は変更する場合があります
 問合せ・予約 大阪 06-4802-6880/2

講師プロフィール

芳村 思風（よしむら しふう）

1942年奈良県に生まれる。現在は三重県に在住。学習院大学文学部哲学科を卒業。同大学大学院博士課程を中退して「思風庵哲学研究所」を設立する。感性論哲学の創始者。感性が生命の本質であり、人間の本質であり、宇宙の究極的実在であるとする感性を原理とした哲学を世界で初めて体系化し、感性ブームを巻き起こした。

‘70年以来、健康や仕事や人生において、如何に感性が大切であるかを説き続けている。

現在、全国30ヵ所以上で感性論哲学を学ぶ「思風塾」が開催され、経営者を中心に、OLやサラリーマンや主婦、学生など様々な方々が集まり、年間講演回数は300回を超える。

日本哲学会会員、思風庵哲学研究所所長、名城大学講師

著書 「感性論哲学の世界」「感性の時代」「人間の格」「いま感性は力」「21世紀・日本の使命」「人間観の革正」「意思の力・愛の実力」などDVD、CDも多数

杉原 伸夫（すぎはら のぶお）

1955年 大阪生まれ

1981年 大阪府立大学大学院農学研究科修了
製薬会社 勤務を経て

1985年 滋賀医科大学医学部入学

1991年 同大学卒業
付属病院第2内科で研修開始

1992年～ 京都、兵庫の病院等に勤務の後

2001年 西宮市に杉原医院 開院
(温熱療法等もとり入れた診療をしている)

NPO法人ネイティブヘルズ理事



貸切バスで行く

枝黒豆収穫と砥峰高原

月 日	平成23年10月20日(木)
行 先	波部農園(丹波篠山)と砥峰高原(ススキの群生)
集 合	梅田 9時30分 (帰着 20時頃予定) 三宮 10時15分 (帰着 19時頃予定)
参加費	8,800円(一般 9,800円) (昼食、農園、バス、高速料金代)
定 員	15名
申込み	ネイティブヘルス ☎06-4802-6880 10月15日(土)まで

波部農園

自然栽培で黒豆を育てておられます。

この黒豆を食べれば、他ののは食べられないという程、甘みがあり、大きくて、ふっくら、もちもちした絶品です。

袋に、詰めるだけ詰めて持ち帰る山ほどの黒豆に、いつも皆さん大満足です。

この時季を待ちかねたりピーターが多いので、なるべく早くお申込み下さい。

砥峰(とのみね)高原

西日本では、有数の約90haに及ぶススキの草原が広がっています。

春の山焼きで一層美しい草原が守られています。

夕日に照らされるススキの群生は見事なものだそうです。

10月中旬から下旬にかけてススキ祭りが開催されます。

篠山からは、かなり離れていますが、この機会に是非行ってみたいと、企画しました。

詳細は、参加申込みの方に、追ってお知らせいたします。



東京でいろいろ学ばせていただき

ありがとうございます

大阪本社から、東京支所へ来て、料理やマッサージと何もかも全部する様になり、不安が多かったのですが、少しずつお客様が増え、皆さまに喜んで頂けるようになり、段々楽しく思えて、自分の自信になりました。

東京支所が無くなるのは、とても申し訳なく、寂しいです。

大阪に戻りましたら、この経験を生かしてもっと皆さまに喜んで頂けるよう、務めて行きます！至らないことばかりでしたが、2年半、本当に有難うございました。

大阪でも宜しくお願い致します。

色川ミカ

東京支所に来て、様々なお客様と接していく中で、人に納得して頂く事の難しさを痛感しました。どんなに良い事でも、正しい事でも、心から納得して頂けないと、人は実行に移す事が出来ないのです。

相手を咎める事より、まず自らの腸を大切にする事の大切さを知りました。

多くの言葉で説得するよりも、正直に真正面から腸と向かいあう事で、お互いが理解しあえる事を知りました。

2年半の中で様々な方にお会いする事が出来て、指導させて頂く中で、僕自身も多くの事を勉強させて頂きました。

この経験を、今後の僕の整腸道に生かしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

色川裕尚

お知らせ

冬期休暇

12月29日(木)～1月4日(水)

1月5日(木)は定休日ですので

実際には、6日(金)から営業致します。



あとがき

何と災害の多いことでしょう。3月の大震災、原発事故から始まって、集中豪雨、台風と、あちこちで大きな被害をもたらしています。二重災害に合った方も居られ、心が痛みます。ボランティアや義援金で協力した人も多いでしょう。また、不況風も日本列島を突っ走っています。その中で、善良な一般市民は「節電」というささやかな努力をしています。

「節電」と言いながら、新幹線はどう考えているのか、車中の冷房は何とかならないでしょうか。皆さんは平気なのでしょうか、私には冷え過ぎて、レッグウォーマーとヒザカケで何とかしのいでいますが、この必需品を先日忘れて大変な目に合いました。これについては、改めて話す機会を持ちたいと思います。

この新幹線での東京通いも、9月で終わりました。

東京支所を閉めた淋しさと悔しさと、支所に来られていた方々にご迷惑をかけた申し訳なき、つらさの入り混じった気持ちの毎日です。しかし、反面ホッとしたというのも事実です。

これからは、大阪本部の充実にスタッフ一同全力を挙げて邁進します。何卒よろしくご支援下さいますようお願い申し上げます。 y m